



## 第2回人体・病理ミュージアム一般公開 — 九州大学医学部病理学 107 年の遺産 —

### 概要

人体・病理ミュージアムを平成23年11月11日(金)12日(土)の2日間、九州大学 病院キャンパスにて一般公開します。

九州大学医学部病理学教室は明治37年に発足し、歴史的遺産ともいべき人体肉眼標本(約1300点)を保管しています。その中から、医学的重要度かつ希少性等を考慮し、臓器系統的に約160点を選択し、標本および展示室をリニューアルしました。さらに、九州大学病院病理部の業務内容を紹介するムービーを自作し、鑑賞コーナーで放映します。

### 背景

医学の中で一般の人には馴染みが薄い病理学ですが、日常診療を行う上で、なくてはならない存在です。病理医は患者さんから摘出された病変を観察し、その顕微鏡標本を作製・観察して診断します。特に腫瘍に関しては、病理診断名がしばしば最終診断名となり、その後の治療方針決定の上で重要な役割を果たします。また、不幸にして亡くなられた患者さんを解剖することにより、病名と死因を特定し、それを主治医にフィードバックします。病理医は医療の裁判官、行司役として“Doctor’s Doctor (ドクターズ・ドクター)”とも呼ばれています。

今回の人体・病理ミュージアムの一般公開では、病理学教室が百年余をかけて収集した肉眼標本を中心に展示し、標本の説明用パネルや病理業務のムービーを用意しました。人体病理を実感し、考える空間作りをコンセプトに、ミュージアム形式で整備しています。病理学関係者が常駐し、展示室をガイドします。

### 開催概要

開催期間：平成23年 11月11日(金) 13時～15時	第1グループ
11月12日(土) 10時～12時	第2グループ
11月12日(土) 13時～15時	第3グループ

会場：九州大学 病院キャンパス 医学部・基礎研究A棟(福岡市東区馬出3丁目1-1)  
<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/map/hospital/hospital.html> (MAP: No.3)

対象：一般市民(高校生以上とします) 医学に興味のある方

定員：1グループにつき 20名(無料) 説明ガイドあり

申込方法：事前申込必要(先着順 定員になり次第締め切り)

電話申込みのみ

※詳細は“九州大学”または、“九州大学医学部”のウェブサイトを参照ください。

<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/app/modules/information/detail.php?i=474&c=1>

### <展示資料現況>

- 器官別臓器標本展示(約160症例)
- 田原淳名誉教授業績サイン式パネル 「哺乳動物心臓の電氣的刺激伝導路の発見」
- 全身骨格標本1体(中山平次郎名誉教授)「福岡の考古学、鴻臚館発見の立役者」  
[http://museum.city.fukuoka.jp/je/html/281-290/287/287\\_01.htm](http://museum.city.fukuoka.jp/je/html/281-290/287/287_01.htm)
- 歴史的顕微鏡および組織写真撮影装置6台
- 紙製人体模型1体(キュンストレーキ「人工死体」)  
[http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/hp\\_db\\_f/michel/07/index07.html](http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/hp_db_f/michel/07/index07.html)
- 人体模型3体 臓器模型7個 大型写真サイン式パネル2枚
- 凹型標本(ムラージュ)8個  
<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/app/modules/information/detail.php?i=404&c=1>
- 視聴覚システム 1式(50インチモニター)「病院病理部の紹介ビデオ」

## 写真説明 <人体・病理ミュージアムの展示スペース>



### ■効果

保存状態に優れた臓器肉眼標本の閲覧は、医学の“過去を振り返り--現在を見つめ--そして未来へ医療のレベルアップに貢献する”貴重な機会となります。

1925年頃まで日本人の平均寿命は50歳にも満たない時代であり、病気の肉眼標本の診断名からもわかるように、今では治る病気も当時は不治の病とされ、多くの若い命が失われました。正しく医学を理解した上で、病気や健康に興味を持つこと、さらに命の尊さを認識できる良いきっかけになれば、病理剖検肉眼標本そのものの使命をも全うすることができます。

基礎医学と臨床医学の架け橋となる病理学とは何か、その果たしてきた役割と病院での診断病理学、基礎医学の重要性を学んでいただけることを意図しています。

### ■今後の展開

人体・病理ミュージアムは学内だけでなく、九州大学総合研究博物館と連携をとって、学校や企業、地域、一般の方にも広く公開を行っていく予定です。

臓器肉眼標本を通して“病気”の理解を深め、医学の進歩が常に進行形であることをミュージアムから発信できるよう取り組んでいます。

#### 【お問い合わせ】

受付担当：九州大学病院病理剖検部門 澁谷秀徳（しぶや）

電話：092-642-6073 Mail：shibuya@med.kyushu-u.ac.jp

展示責任者：医学研究院神経病理学分野 教授 岩城徹

電話：092-642-5536 Mail：iwaki@np.med.kyushu-u.ac.jp

九州大学は2011年に100周年を迎えます



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011  
知の新世紀を拓く